

第30回記念 2016

「かがわ第九」演奏会

レクザムホール
大ホール

11月6日(日)

開演 PM2:00(開場 PM1:00)
(香川県県民ホール)

入場料 一般 3,500円
学生 1,000円
(高校生以下)

～みんなで造ろう!!
香川の第九～

30

ベートーヴェン 交響曲第9番 ニ短調作品125 〈合唱付〉
Beethoven Symphony No.9 in D minor op.125 "Choral"

ベートーヴェン: 歌劇「フィデリオ」序曲

- ・指揮/飯守泰次郎
- ・独唱/高橋 薫子 大林 智子
上原 正敏 黒田 博
- ・管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・合唱/香川第九合唱団 他

- 主催/香川第九実行委員会
- 共催/香川県、高松市
- 支援/公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団
- 後援/高松市教育委員会、さぬき市、普通寺市、土庄町、朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、NHK高松放送局、FM香川、FM815、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、産経新聞高松支局、四国新聞社、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、香川こまち、高松リビング新聞社、ナイスタウン出版、全日本「第九を歌う会」連合会、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル、香川日独協会、

※入場券取扱所/県下有名楽器店各ブレイガイド
●お問い合わせ先/〒761-1402 香川県高松市善町由佐 1382-33 中西久米子方
(TEL / 090-3789-8869)

イラストレーション 香川県立高松工芸高等学校
2年デザイン科 未本 琴乃

出演者プロフィール

指揮者

飯守泰次郎



(C)武藤章

1962年桐朋学園大学音楽科卒、同時に藤原歌劇団公演「修道女アンジェリカ」でデビューを飾る。これまでに読売日響、プレーメン、マンハイム、ハンブルク、レーゲンスブルクの各歌劇場の指揮者、エンスヘデ市立歌劇団第一指揮者、東京シティ・フィル、名古屋フィル、関西フィルの常任指揮者を歴任している。

古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動を展開。特に2000年から4年がかりで東京シティ・フィルと取り組んだワーグナー「ニーベルングの指環」全4作ツィクルス上演では、03年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。ヨーロッパの歌劇場で積み上げてきたオペラに対する深い造詣、特にワーグナー作品を積極的に日本楽壇へ紹介してきた功績には大きい。

現在、東京シティ・フィル、関西フィル桂冠名誉指揮者。12年9月から新国立劇場オペラ部門芸術参与、14年9月同芸術監督に就任。CD制作に関してはフォンテックレーベルから多数リリース、その演奏の充実ぶりが各誌で絶賛されている。

1966年ミトロプーロス国際指揮者コンクール、69年カラヤン国際指揮者コンクールでともに第4位入賞。72年芸術選奨新人賞とバルセロナのシーズン最高指揮者賞を受賞。2000年度第32回サントリー音楽賞、04年11月紫綬褒章、08年第43回大阪市市民表彰、10年11月旭日小綬賞、12年度日本芸術院賞、14年度第56回毎日芸術賞などを受ける。また、12年度の文化功労者に、14年12月には日本芸術院会員に選ばれた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.taijiroiimori.com/>

ソリスト

ソプラノ

高橋 薫子



香川県出身。国立音楽大学卒業。同大学院オペラコース修了。1990年、没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞し、レオポルド・ハーガー指揮のウィーン・フィルと共演。国内では藤原歌劇団公演「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナ役で本格的デビューを飾った。91年から93年までイタリア・ミラノ留学。

帰国後、藤原歌劇団「ルチア」のタイトルロールを急遽代役で歌い、絶賛を博したほか、「コシ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「愛の妙薬」アディナ、「セルビアの理髪師」ロジーナ、「魔笛」パバゲーナ、「電話」ルーシー、「奥様女中」セルピーナなどのオペラのほか、リサイタル、第九や宗教曲などオーケストラとの共演も多い。2000年1月にはウィーン国立歌劇場と新国立劇場の共演公演「ドン・ジョヴァンニ」にツェルリーナ役で出演。着実にレパートリーを広げている。

第23回ジロー・オペラ新人賞、第10回村松賞、'96モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。よんでん芸術文化奨励賞、香川県文化芸術選奨助賞。藤原歌劇団員。国立音楽大、洗足学園音楽大学院常勤講師。

メゾ・ソプラノ

大林 智子



東京芸術大学卒業。同大学院修了。2005年文化庁在外研修員としてドイツ・ミュンヘンに留学。二期会公演「ワルキューレ」でオペラ・デビュー。新国立劇場で「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァ、「ファルスタッフ」ページ夫人メグ、「ラインの黄金」「ワルキューレ」「神々の黄昏」「鹿鳴館」などに出演し、日本人離れした歌唱力と共にその演技力を高く評価された。また、「蝶々夫人」のスズキは、07年以来、当たり役として何回も新国立劇場で歌っている。

N響、都響、東響など数々のオーケストラでミサ曲や第九のアルト・ソロを務めている。ニューヨークのカーネギー・ホール、ドイツ・コブレンツ、ドイツ・ドレスデン、ウィーン楽友教会で「第九」のアルト・ソロを歌い、いずれも好評を博した。近年は、毎年のようにリサイタルを行い、ドイツ・リートレパートリーを広げている。

1986年第23回日伊声楽コンクール入賞。88年第7回新人声楽コンクール第3位。二期会会員。

テノール

上原 正敏



国立音楽大学大学院声楽科修了。声種はリリコレッジャーロ。デビュー時に甘い声と高音を苦としない長身のテノールとして注目される。中村健、畑和子、D. マッツオーラ、V. ポローニの各氏に師事。

1989年東京ガスオペラ「椿姫」のアルフレードでオペラデビュー。92年からイタリア留学。ミラノや近郊都市でコンサートやオペラに出演した。その後、数々の国際コンクールで1位および入賞を果たしたのをきっかけに、ポローニヤ歌劇場、アレーナ・ディ・ヴェローナ、ハンガリー国立歌劇場、オルデンブルク市立劇場、二期会、

関西二期会などでのオペラ公演に出演。また、内外オーケストラとの共演、コンサートのソリストとしても活躍。2000年帰国後日本での活躍を本格化した。

昨年、大人のための童謡集「赤い靴」(CD)をリリース。雑誌等にも紹介され好評。

1989年ニッカオペラ新人コンクール第1位、平成7年度五島記念文化財団オペラ賞受賞。二期会会員。

バリトン

黒田 博



京都市立芸術大学卒業、東京芸術大学大学院オペラ科修了。

1988年に「ドン・ジョヴァンニ」に主演してデビュー。モーツァルトのオペラをはじめ現代の新作まで、さまざまな作品に出演。新国立劇場「天守物語」「ごもり」「ナクソ島のアリアドネ」「愛怨」「忠臣蔵」「俊寛」「黒船」「軍人たち」「修禅寺物語」「鹿鳴館」「夜叉ヶ池」「沈黙」「ラインの黄金」、二期会「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」「カルメン」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「エフゲニー・オネーギン」「バルジファル」日生劇場、びわ湖ホール、神奈川県民ホールなどで「セヴィリアの理髪師」「ルル」「アイダ」「タンホイザー」「椿姫」「死の都」「オテロ」「金閣寺」などに出演。

NHK「ニューイヤーパーラコンサート」「名曲アルバム」「みんなのうた」「みんなの童謡」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などの放送にも出演。

国立音楽大学教授。二期会会員。

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。82年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2003年から特定非営利活動法人、14年から認定NPO法人として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を行っている。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年から首席客演指揮者を務め、11年1月から楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年から正指揮者を務め、07年4月から首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年から常任指揮者を務め、11年1月桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽…『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。地元練習場での「コミュニティーコンサート」などで聴衆との交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。活動に明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとしてますます好評を博している。14年10月にスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜夜11時)に藤岡幸夫と共に出演中。15年5月から6月にかけては、スイス、ドイツ、イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で注目を集めた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>



(C)s.yamamoto